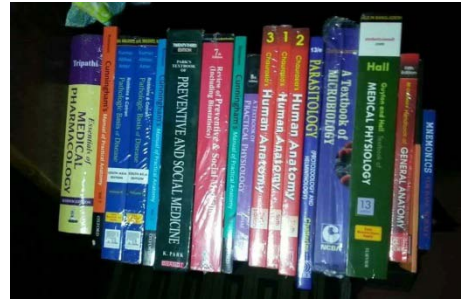


ネパールのメーガさんの 医科大学継続の支援をお願いします。



メーガ パトラバンサ (Megha Patrabansha)さんは、昨年7月に医科大学を受験し、カトマンズの NEPAL MEDICAL COLLEGE に優秀な成績で入学を果たされました。地震の影響や政治的に不安定な状況が続いていた結果、授業はやっと今年の1月に開始されました。

大学入学時には卒業までの経費 550 万円の内、最低限、約半額の 250 万円の納入が必要でしたが、日本からの支援の結果、無事にそれを支払う事ができ、メーガさんは現在、寮生活をしながら勉学に励んでおられます。また、彼女はトップクラスの成績だそうです。

この度、大学入学から1年が経過し（実際は半年）、7月～8月中旬に 100 万円の授業料の請求を受けています。メーガさんをネパールで支援している NGO PIN NEPAL の関係者が資金を集めていますが、支払いのめどが立っていないようで、当会「ネパールの医師になりたい少女を支援する会」に引き続き支援の依頼が、メーガさん本人と NGO PIN NEPAL のアニタさんから届きました。（別紙）もし、学費の工面が出来なければ退学の可能性もあります。



平成 27 年 3 月 11 日に「ネパールの医師になりたい少女を支援する会」を立ち上げ、支援のお願いを致しましたところ、351 名と 8 団体の皆様から総額 298 万円もの支援金を頂戴いたしました。

そこで、急な話ではありますが、当会は、メーガさんが大学での勉強が継続できるよう再度支援活動を開始することと致しましたので、誠に恐縮ですがご支援を賜りますようお願いいたします。

| ご参考までに インターネットで見つけた値です | ネパール (30年前) | ネパール (現在) | 日本 (現在) |
|------------------------|----------------|--------------|--------------|
| 医師の数 | 360人 | 1200人 | 30万人 |
| 医師の数 (人口10万人対) | 2.7人 | 4.5人 | 236.2人 |
| 平均寿命 | 45歳 | 68歳 | 男86歳 女80歳 |

ネパールの医療事情は、在ネパール日本国大使館の「海外医療事情 2016 報告」によれば、正確な数を把握するのは困難なことでありますが、医師の数は全国で約 1200 人と云われています。そのため、大多数の人々は医師に診てもらうために 2 日も 3 日も歩いて行かなければならない状況にあり、地方では伝統医療（アユルヴェーダ）や祈祷師による治療が行われているところも少なくないそうです。

先日、ネパールで長年にわたり結核を中心とした医療支援活動をされてきた岩村昇先生の 30 年前の著書「ネパールの碧い空」を読みました。「医師数は人口 3 万 6 千人に一人という少なさである。また、先進国においてはすでに数少なくなった伝染病、感染

症がここでは広く一般的な疾患として存在し、とくに乳幼児においてそれが甚だしい。たくさんの子供が生まれては死んでおり、老人が少ないので、生存者の年齢を平均するとわずかに 40 歳位と推定される。」と記述されています。

現在、ネパールにおいては 30 年前と比較すると少しは改善されてきているようですが、いまだに医師の数は極端に少なく、平均寿命も 68 歳で、まだまだ厳しい状況であり日本とは比較にならない状態です。

そこで、メーガさんには必ず医師となり、そしてネパールの医療を背負って立つ人として活躍してもらいたいと念じています。

前回すでにご支援を戴いた方々にも大変恐縮ではありますが、重ねてのお願いを申しあげた次第です。

2016 年 7 月 24 日

「ネパールの医師になりたい少女を支援する会」
実行委員長 井戸 武實